

身近にいる生き物・植物の観察～自然の中いろいろな出会い ワクワクな観察

畑 幸慶（丹波市立大路小学校 6年）

はじめに

僕は、丹波市内に住んでいる小学6年生です。
2年生の時バードウォッチングに行って、たくさん鳥を見つけたことがきっかけで鳥の観察を始めました。僕の学校の宿題には、「マイノート」という何をしてもいい宿題があります。そこで僕は鳥の絵を描いたり、図鑑で調べてまとめたり、それだけでなく、昆虫・植物・稲など色々な分野のものを観察するようになりました。



調査方法

①フィールド調査

2020年から2023年の間で週末、春・夏・冬休みを利用して家の周りや僕の住んでいる地区内で調査した。

②トラップ、ビオトープの作製

トラップを自作し、捕獲した生き物を観察または、ビオトープを川に作り観察した。

③網で捕獲

網で捕獲した生き物をノギス、メジャーなどを使って大きさなどを調べた。

④出現傾向の分析

活動範囲、寝床、餌場、遊んでいる所、団体行動、単独行動など時間を変えて観察し、地図にしてまとめた。

⑤成長過程の観察

植物の発芽から収穫まで、昆虫の幼虫から成虫までを観察した。アメリカザリガニは卵→ゾエア幼生→ミシス幼生→小エビまでを観察

⑥結果と考察

4年間で分かったことは、鳥は季節で種類や数が変わり、帰巢本能について、次の年も飛来してくるか、データにまとめると、本能がよく分かった。



